

V・チャレンジリーグII 須坂大会

長野 GaRons 初のホームゲームは1勝1敗

【長野 GaRonsGM 篠崎 寛】

11月5日(土)～6日(日)に須坂市市民体育館において、長野ガロンズのVチャレンジリーグII初参戦ホームゲームが開催されました。



全8チームが集結する大会となり、会場にも沢山の観客の皆さんに御来場頂きました。

1日目の対戦相手は、昨年ベストシックスに選出された毛利選手率いる強豪「きんでんトリニティブリッツ」。開始早々、硬さの見えるガロンズは第1・第2セットを先取されてしまいました。続く第3セットは、地元の声援を受け、ガロンズは先行して逃げ切ることができました。観客の皆さんの大きな声援に押されて勢いをつけたガロンズですが、第4セットは再び先行されます。終盤20-24から3連続ポイントで23-24と追い上げを見せましたが、きんでん:毛利選手の巧みなトスワークの前に残念ながら敗戦となってしまいました。

2日目の対戦相手は東京トヨペット。ベテランの大エース:伊藤選手、闘将:松枝監督率いる古豪です。地域リーグ時代に対戦したことがありますが、一度も勝てたことがないチームでした。伊藤選手のサーブに苦しめられましたが、地元の大声援で勢いがつき、3-0のストレートで勝利。初の勝ち点3ポイントを掴み取りました。

今季初参戦ということで、協会関係者の皆様方には多大なるご協力承りましたこと、心より感謝申し上げます。



次回、ホームゲームは2月11日(土)～12日(日)。場所は同じく須坂市市民体育館となります。これよりアウェー戦に入りますが、次回開催のホームゲームで少しでも上位戦線に入り込み、会場が更に盛り上がるよう、そして今回のリーグの中で更に進化を遂げられるよう頑張

張って行きます。2月は是非、須坂市市民体育館にお越しください!

男子は創造学園が4年連続 女子は松商学園が11年振りに春高へ

【総務委員長 内山政則】

11月12日（土）～13日（日）の2日間、一次ラウンドで勝ち残った男子：8チーム、女子8チームが長野市ホワイトリングに集結。春の高校バレー出場を目指した決勝ラウンドが繰り広げられました。

男子は、大会ごと力を付けた創造学園が岡谷工業を圧倒。3－0で勝利し、4年連続6回目の春高出場を決めました。

女子は、両チーム共チーム力が拮抗する中、終始流れを大切にされた松商学園が都市大塩尻を3－1で振り切りって頂点に立ちました。全国大会で常に上位を目指す創造学園は静かな優勝シーンとなりましたが、松商学園は11年振りの春高出場となり、選手は勿論のこと、ベンチスタッフ・保護者・卒業生共々感激の涙で校歌を歌い、互いの努力を讃え合って館内は暫く感動の坩堝となりました。

春高バレー県大会優勝 ～感想と本大会に向けて～

【創造学園高校バレーボール部 部長 塚田匠海】

今年も先日の最終予選に優勝し、4年連続6回目の本大会出場を決めることが出来ました。しかし、私達はこの優勝に酔っていることは出来ません。何故ならば、この優勝はあくまでも通過点であり、自分達の最終目標は「全国大会優勝」だからです。

今年のチームは日本一を狙える位置にありながら、中国インターハイではベスト8、岩手国体では第3位に終わり、いまだ決勝という舞台にすら立てていません。これからの残された時間を死に物狂いで練習に励み、今度こそ最終ステージに立てるように、今ある課題をひとつひとつ克服してゆきたいと思っています。

僕達3年生にとっては、今回の春高バレーが高校生活最後の公式戦になります。「今度こそ！」という強い思いを持って、最終日にオレンジの特設コートで創造ブルーが躍動し、日本一最後までバレーをする学校になれるように全員一丸となって頑張ります。そして、春高バレー初優勝を果たして帰って来たいと思います。御声援の程、宜しくお願いします。

春高バレーに向けての抱負

【松商学園高等学校女子バレーボール部主将 酒井美緒】

今年6月に開催されたインターハイ長野県予選の決勝戦では、東京都市大学塩尻高等学校にセットカウント2－1で敗れて全国大会の切符を逃しました。その悔しさをバネに夏休みの合宿では、技術・メンタル面に加え、ウェイトトレーニングでスピードやパワーを強化して、これまでのチームに不足していた部分を補ってきました。そして、しばらくベンチを離れていた永井先生が戻ってきてくださり、チーム全体のバレーボールに対する意識、チームの団結力がさらに強くなって、ファイナルラウンドを迎えることができました。

ファイナルラウンドでは、コートの中だけでなくベンチ・スタンドが一体となり、松商学園バレーボール部全体が一つの固まりとなって優勝を掴み取ることができました。



全国大会では、今まで通用していたプレーが通用しなくなり、これまで以上に技術面・メンタル面の強化が必要となってくると思います。



松商学園にとって全国大会は11年ぶりの出場となるため、他県の全国出場チームとどこまで対等に戦えるか、正直言って分かりませんが、しかし、憧れであったオレンジコートで戦える喜びを胸に、全国の舞台で松商バレーを思いっきり発揮してきます。

そして長野県代表として、支えてくださる全ての方々に感謝し、感動を与えるようなバレーと恩返しができるよう精一杯戦います。

表彰・閉会式では成績発表後、ルートイングループ取締役広報室長兼CSR推進室長：関 由美江様、株式会社長野放送販売促進事業局長：小宮山 弘様、サンケイ新聞長野支局長：高木 桂一様、そして大会長から各チームが表彰されました。最後に船木 正也大会長から、全国大会に向けてのエールと共に、2020年東京オリンピックで活躍できるような選手になれるよとの激励の言葉、大会スポンサー各位へのお礼がありました。

男女優勝校は、来年1月4日（水）～8日（日）に東京体育館で開く全国大会に出場します。両チームの活躍をお祈りします。多くの方々の力強い応援を宜しくお願い致します。

VC長野が12月3日(土)・4日(日)にホームゲームの高森大会を開催

【一般社団法人VC長野クリエイトスポーツ代表理事 笹川星哉】

12月3日(土)、4日(日)に高森町民体育館にてVC長野トライデンツのホームゲームが開催されます！
トライデンツは今季、V・チャレンジリーグIへ昇格。レベルの上がったカテゴリーへと戦いの場を移しました。昨年は大勢の方々が会場へとお越し下さり、リーグNo.1の動員数を記録しました。そして大声援を受け、優勝という最高の成績を残すことができました！今季は難しい試合ばかりですが、皆様のご声援が選手を後押ししてくれます！私達VC長野トライデンツは応援して下さる皆様を楽しませるプレー、喜ばせる結果を出せるよう全員で戦います！そんな姿をぜひ会場で見てください！応援よろしくお願い致します！！

《V・チャレンジリーグI 高森大会詳細》

12/3(土) 一般開場 11:00～

第2試合 15:00～

VC長野トライデンツ VS 富士通カワサキレッドスピリッツ

12/4(日) 一般開場 10:00～

第2試合 14:00～

VC長野トライデンツ VS 埼玉アザレア

〈チケット価格(全席自由席)〉

大人¥2,500(¥3,000) 小人¥500(¥1,000) ※()内は当日料金

※チケット予約は一般社団法人VC長野クリエイトスポーツまで

TEL 0265-98-6812(平日9:00～17:00)

E-mail mail@vcnagano.jp

担当 笹川、保科、竹内



男子はオルガン針 女子は佐久総合病院が共に3位に食い込む

【オルガン針バレーボール部監督 和田博文】

11月3日(木)～6日(月)、北海道江別市にて開催された第15回全国社会人9人制バレーボール東ブロック男女優勝大会へ長野県代表として参加致しました。

今年はスタートから怪我人が出てしまったり、海外赴任で主力選手を欠いたり、チーム作りが大変なシーズンであり、本大会もチームの仕上がりが万全ではないことやメンタル面での不安を抱えて臨むこととなってしまいました。



グループ戦は、3年前に福井県で開催された同大会の決勝トーナメント戦で惜敗した茨城県代表：九鱗会との対戦となりました。心配したメンタルの弱さが勝負どころで出て、今回も1-2で敗れてしまいました。試合後のミーティングでチームの士気を高め臨んだグループ戦2戦目(敗者復活戦)は、神奈川県代表：湘南VBとの対戦でしたが、これは2-0で快勝して決勝トーナメント進出を決めました。

翌日のトーナメント第1回戦は、又も神奈川県代表：藤沢市役所との対戦となりましたが、昨日の動きとは違って変わり、サーブが入ってゲームのリズムを引き寄せ、終始リードを保って危なげなく2-0で勝利しました。2回戦は岐阜県代表：東レ岐阜と対戦し、勢いそのままこちらも2-0で勝利。続く3回戦は群馬県代表：風雷迅との対戦となりましたが、連戦の疲れと相手好サーブで序盤から一進一退のゲーム展開となりました。しかし、セット終盤の勝負所で攻守に粘りを発揮することができて2-0で勝利。準決勝に駒を進めることができました。

準決勝は、東京都代表：新宿西龍会と対戦。1セット目は緊張からかレセプションが乱れ、10-21で落としてしまいました。2セット目も1セット目の流れのままリードを許しましたが、後半盛り返して何とかデュースまで持ち込みました。しかし、残念ながら後一歩及ばず、23-25で敗れました。

決勝に進めず悔しい思いもありますが、何とか3位という結果を残すことができました。あわせて、個人もチームも成長を感じられる有意義な大会となりました。

最後になりますが、応援頂きました会社の皆様や家族に感謝し、更に良い成績を残せるように頑張ってお参ります。

【佐久総合病院バレーボール部監督 由井 章】

11月3日～6日、北海道江別市にて全国社会人9人制バレーボール東ブロック男女優勝大会に参加してきました。数年前より選手採用がなくなり、実連登録ができなくなってからは細々と活動してきました。選手たちも半分がママさん選手という中での参加でした。

初日グループ戦では昨年優勝の東京代表：全目黒をベースに作ったファインズに0-2で敗れ、敗者復活に回りました。ここで宮城代表：teamみやぎに2-0で勝ち、決勝トーナメントに残りました。



準々決勝で地元代表：かれんに2-1で勝った後の準決勝の相手は、予選で簡単に負けたファインズでした。試合をしていく中で昔の記憶が戻り始めたのか、フルセットのギリギリまでもつれた試合となりました。しかし最後は押し切られ、1-2で惜敗しました。「あと少し」という欲もありますが、「よくやった」という達成感も得ることができました。また、隣の男子準決コートにオルガン針さんがいてくれたことも大きな勇気となりました。

今後どのような活動ができるのか分かりませんが、常に多くの支えに感謝の気持ちを持ち続けていきたいと思います。

第64回秋季北信越大学男女バレーボール選手権大会

男子：信州大学 女子：長野大学が全日本インカレの出場権を獲得

【大学連盟理事長 野口京子】

10月の21日（金）～23日（日）及び29日（土）～30日（日）、石川県白山市で秋季の北信越大学選手権大会が開催されました。男女共優勝はならなかったものの、男子では信州大学が3位で全日本インカレへの出場権を獲得しました。女子は長野大学が3位で、今年はフリーエントリーで全日本インカレに出場します。

尚、次年度よりこれまでのフリーエントリー方式（男女隔年）は廃止され、男女とも北信越の3位までが全日本インカレ出場権獲得に変わります。

又、信州大学：堀内 拓也（4年）、長野大学：前田 萌（3年）の両選手（共にミドルブロッカー）がベスト6に選ばれました。



【信州大学男子バレーボール部4年 清水拓実】

10月下旬、石川県で開催された秋季北信越大会において、信州大学は3位に入賞しました。

信州大学のスタメンは、リベロを含む7人の内、県内出身者が6名。そのほとんどが進学校出身で、高校でのバレーボールの最高成績は良くても県ベスト8という構成です。チームには指導者もおらず、練習は長野市内の体育館を自分たちで探し、練習メニューも自分たちで試行錯誤しながら決めてきました。

時には意見がぶつかり合うこともありましたが、最後の最後、北信越という晴れ舞台で、コートに立っ

ている選手、ベンチにいる選手、ギャラリーで記録を取っているマネージャー、長野から遥々駆け付けてくれた沢山のギャラリーの方々の応援が一つになり、3位までに与えられる全日本インカレへの出場権を獲得しました。

夢にまで見た全国の舞台では、今まで自分たちに関わってくれた、数え切れないほど多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、信州大学らしさを存分に発揮していきたいと思います。

【長野大学女子バレーボール部3年 前田 萌】

今回の大会は、一年間の集大成として優勝を目指しました。準決勝では、金城大学のパワーやスピードがあるコンビバレーを抑えることができず、惜しくも敗北してしまいました。

しかし三位決定戦では、富山大学に対して長野大学らしい元気の良さや雰囲気づくりでコンビバレーを展開して勝利。今回の大会は3位入賞という形で終了しました。目標である優勝には手が



届きませんでしたが、全員で勝利を掴めた大会となりました。

次回の春季北信越では完全優勝ができるよう、これからも日々バレーができる環境に感謝しながら練習に取り組んでいきたいと思ひます。

第8回北信越実業団9人制バレーボール男女選手権大会

男子は松本市役所が6連覇！ 女子のエプソンは準優勝に終わる

【実業団連盟理事長 村上里志】

第8回北信越実業団9人制バレーボール男女選手権大会が、10月29日（土）～30日（日）に松本市総合体育館で開催されました。

県勢は男子5チーム（松本市役所、日信工業、オルガン針、山洋電気共済会、上田市役所）、女子は2チーム（セイコーエプソン、松本市役所）が出場しました。



《 男 子 》

初日のグループ戦を1位通過した松本市役所は、決勝リーグで北陸電力（富山県）、北陸電力石川（石川県）との対戦となりました。松本市役所は強力なサーブで相手を崩し、レフト：中村、センター：工藤のスパイクなどで加点。終始安定した戦いを展開して全試合をストレートで勝利。6年連続6回目の優勝を果たしました。

尚、気合のサービスエースを連発した松本市役所の馬淵敏男主将が最優秀選手賞を受賞しました。

《 女 子 》

女子の決勝は、OG主体のエプソンと前年度優勝「金沢F」の対決となりました。エプソンは、9人制バレーの技を存分に駆使して喰らいつくも、金沢の堅い守りを崩し切れず、逆に金沢に速攻などで加点されて逃げ切りを許し、昨年に続いての準優勝という結果でした。また松本市役所は、業務等で選手が揃わず、精彩を欠いて3位に終わりました。



尚、松本市役所の男女チームは、12月10日（土）～11日（日）に金沢市で開催される「第31回『櫻田記念』全日本9人制バレーボール実業団選抜男女優勝大会」に出場します。この大会は、全国実業団の上位チームと各ブロック（地域）から推薦された男子16チーム、女子12チームが参加して開催されるものです。両チームの活躍が期待されます。

9人制では本県のレベルの高さを十二分にアピール

【クラブ連盟理事長 竹内 稔】

ミス/杯第15回北信越クラブバレーボール男女優勝大会が10月29日(土)～30日(日)、福井県あわら市トリムパークかなづ他で開催されました。



この大会は、各種全国大会に各県予選で一步及ばなかったチームに、北信越クラブバレーボール連盟主催で県の枠を超えて参加できる大会の位置づけとして、各県クラブチームの強化と交流を目的とし、男女6・9人制、男女2部(男子35歳、女子30歳以上)の全種目を実施。開催地は北信越5県を毎年移し、全国大会に匹敵する50チームが参加して熱戦を展開しているものです。

また、この大会では第1日目の競技終了後に全チームが参加する交流会が行なわれ、500人を超える大会関係、選手が一堂に会し、北信越5県のバレーボールの交流が盛大に図られています。

長野県からは、男子2部に大町と長野教員の2チーム、女子9人制に木曜排球団・ThRough・R i nの3チーム、6人制には男子がケンタカムカム・男闘呼組、女子: Team NIMOの3チーム、計8チームが参加しました。

さてその長野県チームの結果ですが、9人制男子2部の決勝戦は大町と長野教員バレーボールクラブの長野県勢の対戦となり、接戦の末、大町が優勝しました。又、9人制女子はThRoughが準優勝、木曜排球団が第3位に入賞しました。一方6人制は目立った成績が残せず、男子が予選は通過したものの、決勝トーナメント1回戦での敗退でした。

尚、平成29年度の開催は長野県となりますので、関係者のご協力をお願い致します。



平成28年度ミス/杯第16回長野県6人制クラブバレーボール選手権大会 兼 第5回長野県13地区対抗6人制選手権大会一般・高校の部

男子は長水協会 女子は長野 spirits が優勝

【クラブ連盟理事長 竹内 稔】

平成28年度ミス/杯第16回長野県6人制クラブバレーボール選手権大会兼第5回長野県13地区対抗6人制選手権大会一般・高校の部が11月27日(日)に大町市総合体育館で開催されました。

本大会は社会人チーム拡充のために、本年度にJVA登録のないチーム及び選手並びに高校生の出場を認める大会として、昨年度まで別開催としていた一般財団法人長野県バレーボール協会主催の13地区対抗6人制選手権とクラブ連盟6人制選手権の同一趣旨大会を合同で開催しました。



近年は各地区協会の母体を担ってきた社会人チームが減少し、事業運営に少なからず影響を及ぼしています。また、社会人バレーボールの確保と同時に大会運営等を担う人材の育成も必要とされています。本大会を通して競技を楽しむことと同様に、地区協会や各連盟の事業に協力いただける方が少しでも増えることも期待しています。



大会は男子 11 チーム、女子 4 チームが参加し、クラブチームと地区協会選抜チームがそれぞれのトーナメント勝ち抜き、優勝をかけて決勝戦を行いました。男子は「長水バレーボール協会」が接戦を制し優勝。女子は「長野 spirits」が優勝しました。

試合結果は下記の通りです

結果	優勝	準優勝	3 位	
男子	長水協会	南長野排球倶楽部	大町スポーツクラブ Jr	伊那体協
女子	長野 spirits	長野教員女子	長水協会	Team NIMO

コカ・コーラ杯第 34 回長野県小学生バレーボール選抜優勝大会

女子は小布施スポーツ少年団が4連覇 男子は牟礼VCが初優勝

「コカ・コーラ杯第 34 回長野県小学生バレーボール大会選抜優勝大会を終えて」

【小布施スポーツ少年団女子 土屋 正史】

6 年生にとっては、小学生最後の県大会となるコカ・コーラ杯第 34 回長野県小学生バレーボール大会選抜優勝大会を 4 年連続優勝というかたちで終わることが出来ました。

大会を振り返ると、初戦から力みなどでリズムが作れずにいましたが、準決勝の阿智クラブ戦から力みが消え、本来のリズムに戻ってきました。決勝戦の松本マーヴェラス鎌田との対戦では、鋭いサーブが連続して入り、サーブカットが乱れずに有利な展開でゲームを進めることが出来ました。

普段の練習より鋭いサーブとサーブカットを意識して練習してきた成果がこの県大会で発揮され、それが優勝の最大の要因だったと思います。

この大会の準備から当日の運営まで、長野県小連の役員や開催地の北信西支部の役員の皆様など、たくさんの方々のご協力があったの今日の結果だと思っています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

私たちは来年 3 月、福井県で開催されるスポーツ少年団全国大会に出場します。これまでやってきた 6 年生は小学生バレーの集大成として、この県大会で見つけた課題を克服し、良かった部分はさらにレベルアップをし、この全国大会の 3 連覇を目指します！



「創部18年目でメジャータイトル初優勝！」

【牟礼VC監督 河井 隆治】



今年のチームは、伸び率の期待を込めて、練習日数を初めて週3日としました。が、夏のファミリーマートカップでは、県大会にすら出場できませんでした。しかし今思うと、この負けで子供たちは覚醒したのでは……。

初めて駒を進めた選抜優勝大会。決勝戦の第1セットは10-21。えっ？ 決勝だぞ！ 第2セットも15-19。これまでか……？ しかし、ここから子供たちはあきらめていませんでした。そして誰もが目を疑う大逆転を魅せてくれました。

この大きな成果は、練習試合に誘って下さったりご指導いただいたりした各チームの指導者の皆さんを始め、私たちを支えてくださった関係者の皆さんのおかげと感謝致します。

【牟礼VC主将 熊井 陸】

今までで一番うれしいです。これからも最後まであきらめない気持ちで、仲間と一緒にガンバリたいと思います。

平成28年度ソフトバレー北信越総合フェスティバル新潟大会

【ソフトバレーボール連盟 中山芳一】

北信越総合フェスティバルが、10月22日・23日の両日新潟県上越市で開催され、シルバーの部・スポレクの部・レディースの部・フリーの部の4種別合わせて48チームの参加で開催されました。長野県からはシルバーの部に3チーム・スポレクの部に2チーム・レディースの部に2チーム・フリーの部に2チームがそれぞれ参加をしました。

〈シルバーの部〉

【チーム八ヶ岳レンポーズ 笠原敬太郎】

予選リーグを1位で終え、決勝リーグでは5試合を4勝1敗の成績でした。1敗は石川県の伏見台ソフトバレー部に2-0で敗れ2位と言う結果であったが、満足感もあるが悔しい気持ちもある大会であった。長野県には無いプレスタイルのチームと対戦できて、良い経験が出来たと思う。他県の昔から対戦しているチームとまた再開する事が出来て、楽しく過ごすことができた。試合数が多く、ソフトバレーに専念出来て、良い大会であったと思う。



【チームらいでん 谷口真由美】

開会式のセレモニーで上杉謙信の圧巻のパフォーマンスが素晴らしく、新潟県のおもてなしを感じました。厳しい中なんとか決勝リーグ上位6チームに残る事が出来ました。その後は総当たりで5試合でしたが、楽しくプレーする事ができ成績は3位に入れました。



〈スポレクの部〉

【チームオルカ 徳永博幸】



来賓の多い開会式に始まり、整列している見たことのないチームの面々に完全に圧倒されての大会開始となりました。大会初日が予選リーグと決勝リーグの1部で3試合、2日目は決勝リーグの4試合を行いました。2日目の試合ということで、体力、気力、集中力、さらにはチームワークに不安を覚えながらも、見事優勝することができました。北信越大会のスポレクの部では、長野県の強豪チーム「スーパーマックス」さんが2連覇中でした。私達のようなチームがその優勝をつなげる事ができてとても嬉しく思います。また、長野県の予選会から新潟県での本戦まで、メンバー一同、貴重な経験と沢山の思い出ができた大会となりました。この経験と思い出話を花を咲かせながら、益々ソフトバレーを楽しんでいきたいらいいなと思います。

〈レディースの部〉

【チームダンデライオン 中野さおり】

成績は、予選を勝ち抜いた後決勝リーグ上位グループ6チームの総当たりで最終結果は3位でした。初めての北信越大会参加でしたが、楽しく充実したプレーをさせて頂きました。沢山のチームと試合ができ、大変満足しております。開会式のセレモニーも、素晴らしかったです。大会に御尽力頂いた皆様に、大変感謝致しております。



〈フリーの部〉

【チームカナロア 中澤将也】

予選を1位で終え、決勝リーグ上位では6チームの総当たりを4勝1敗で2位の成績でした。長野県代表の1チームとして参加させて頂き貴重な経験とチームの絆が更に深まった大会でした。また長野県代表としての責任はある程度果たせたのかなと感じます。長野県の予選を勝ち抜くほうが大変ですが、来年も富山に行って美味しい料理と酒を楽しみたいと思います。

平成28年度 ソフトバレー北信越ファミリー&キッズ・一般フェスティバル石川大会

【ソフトバレーボール連盟 中山芳一】

北信越ファミリー・キッズ・一般フェスティバル石川大会が、10月30日に石川県津幡町において開催され、ファミリーの部・キッズの部・プラチナ部・ゴールドの部・メンズの部の5種別に42チームの参加で開催されました。長野県からは、ファミリーの部に2チーム・キッズの部に2チーム・プラチナの部・ゴールドの部・メンズの部にはそれぞれ各1チームが参加致しました。



ファミリーの部 【チーム大町ファミリー 一岡純示】

予選を全勝で、決勝トーナメントでは新潟県のJSCドリームに2：0で勝ち、決勝ではやはり新潟県の新道ギャラクシーに2：0で勝ち優勝する事ができました。

ゴールドの部 【チーム松本 SVC 平林和雄】

予選3試合を全勝でしたが、セット率で2位になり、決勝では予選1位の福井県のfreewillと対戦し2：1で勝ち3年連続の優勝を納めることができました。



JOCジュニアオリンピックカップ

第30回全国都道府県対抗中学バレーボール大会北信越強化練習会を開催

【中体連専門委員長：牛田佳伸・強化委員：安藤利長】

11月12日（土）13日（日）、男子は篠ノ井西中学校、女子は裾花中学校を会場に北信越バレーボール連盟主催による標記練習会（通称「北信越五県対抗」）が開催されました。

各県9月に選抜チームを結成してから約2ヶ月、休日の遠征や平日練習を重ね、強化を進めてきました。特別ルールが多い本大会、それを前にして、最後の公式の練習会ということもあり、本番さながらの試合が展開されました。

男子は、ブロックやスパイクのコンビネーションなど、2ヶ月間の練習の成果が見られるゲームを行うことができました。それと同時に、チーム力を高めるための課題を掴むことができました。チーム作りも後半戦を迎え、今後の成長が楽しみとなる貴重な機会となりました。リーグ戦形式の対戦結果は、失セット0の富山県に続いての2位でした。

一方の女子は、今年の夏の結果同様、各県の力が拮抗しており、セットを取ったり取られたりゲームが続きました。本県選抜は、従来のフォーメーションを変えて、新しいフォーメーションに取り組んでいます。フォーメーションの形は変わっても、今までの長野が目指してきた「高速コンビバレー」が少しずつチームに浸透してきました。最終結果は、新潟県に惜しくも及ばず2位でしたが、チームを結成して以来、確実に力を伸ばしてきており、あと1ヶ月半で今井監督がどのようにチームを仕上げているのか、大阪での本大会が大変楽しみな結果となりました。

平成 28 年度 公益財団法人日本体育協会公認 指導員養成講習会を開催

【指導普及委員長 城倉 淳】

平成 28 年度の日本体育協会公認指導員養成講習会を実施しました。

大町市立大町西小学校を主会場にして、31名の受講者が指導員の資格を取るために、5日間にわたる講習会に参加しました。5日（日）には、開講式に続き、当協会副会長である江村恵一氏を講師に招き、「バレーボールの歴史」について学んでいただきました（写真左）。今年は9人制バレーボールの変遷も交え、貴重な資料を提示していただきました。午後は「ウォーミングアップ・クーリングダウン」について実技も交えた講習を行いました。

12日（土）以降、20日（日）までの4日間で「救急救命法」「スポーツと保険」「初心者導入法」「6人制・9人制のルール」「コーチング理論」「実技試験」等、密度の濃い講習会が続きました。

受講した皆さん全員が専門分野 40 時間の講習を無事に終えることができました。

江村副会長による「バレーボールの歴史」



コーチング理論のフリートークの場面



平成28年度中間収支会計監査終了

【総務委員長 内山政則】

平成 28 年度中間収支会計監査が、11 月 9 日（水）の午後 3 時から事務局にて実施されました。

竹淵専務の立ち合いのもと、総務委員長から4月～9月までの中間収支会計報告の概要説明をした後、小谷・林両監事に金銭出納帳・元帳・領収書綴り・各種大会決算書等の監査を受けました。

問題点につきましては特に指摘はありませんでした。大会決算報告提出書類への押印については、各協会の皆様のご努力と県協会事務局からの呼びかけでサインが少なくなり、大分整って来ておりますが、領収書について大会前、当日と科目を間違える場合があります。特に合算された場合は、科目ごと金額が明記された書類の提出にご注意下さい。



なお、このことは常務理事にもお願いしてありますので、常務理事に目を通して頂いてから県協会へ提出することをお願いしたいと存じます。

県体協ヒヤリング報告 ～ 来年度の目標を回答

【強化副委員長 村上里志】

11月11日（金）、（公財）長野県体育協会による国体強化事業ヒヤリングが県スポーツ会館で実施され、当協会から竹淵専務理事、三溝強化委員長、村上強化副委員長の3名が出席しました。

席上、まず今年度の北信越国体及び第71回岩手国体での反省・課題を報告しました。県体協からはジュニア層の強化策について幾つかの質問がありましたが、小中高校指導者、指導普及担当と更に連携を強め、また指導者育成も併せて中長期視点で抜本的方策を打っていく旨の回答をしました。

また、県体協からは平成39年長野国体が具体化する中で、それを見据えた強化計画を策定するよう要望がありました。

最後に、来年度以降も選抜方式を基本に選手を選考し、ふるさと制度をフル活用して最強チームを編成すべく努力。第72回愛媛国体も32.5点を目標とし、少しでも上積みできるよう尽力すると宣言してヒヤリングを終了致しました。

第3回プログレスプラン ～『トレーニング』講座を開講

【中体連専門委員 松崎 一】

11月23日（水）に筑摩野中学校体育館で第3回プログレスプランが実施されました。今回は『トレーニング』講座を開講し、指導者128名、選手21名が参加しました。講師として相澤病院の繁田雅樹先生をお招きし、3時間半という長時間を細かい所までご指導いただきました。



繁田先生の講習では、バレーボールにつながる動き作り、ウォーミングアップ、筋力向上を中心に教えていただきました。指導していただいたこと全てがバレーボールにつながっていることから、参加した選手も真剣な眼差しで取り組んでいました。『技能はしっかりとした土台・基礎の上で身につく』という繁田先生の言葉通り、ボールを使った練習でう

まくいかないことが、実は動きの習得が不十分であることも一因となっていることを理論的に解説いただきました。『どのようなトレーニングがバレーボールのどのような動きにつながっていて、何をイメージしながらトレーニングすればよいか』を会場にいた全員が納得できて、今後の練習に生かしていただける講習会となりました。

小・中・高バレーボール指導者懇談会が開催される

【強化委員 木下久資】

11月22日（火）、塩尻市の信州健康ランドに於いて、小・中・高バレーボール指導者懇談会が開催されました。この会は、長野県内バレーボール界の普及・強化に関して、小学校・中学校・高校の指導者の各代表が一同に会し、それぞれの課題を共有する一方、各団体の連携を図ると共に、併せて親睦を深めるという狙いの下、隔年で行われているものです。今回は、昨年、それぞれの都合が折り合わずに流れたため、2年振り3回目の開催となりました。

会の冒頭、竹淵専務理事の「長野県バレーが発展していくような会に」という挨拶、三溝強化委員長の挨拶に続いて、口火を切る形で牛田佳伸中体連専門委員長より一昨年度辺りからバレー人口の減少に歯止めが掛かりつつある現状等の発表があった後、山岡航太郎強化委員よりゴールドメダルプランやプログレスプラン等の取り組みの紹介がありました。それに引き続き、小連の高相一夫指導普及委員長、

各カテゴリーを繋ぐ役割も担っている城倉淳県指導普及委員長、高体連の宮坂俊樹専門委員長等から現状や問題提起があり、今回は大学連盟の野口京子理事長（県強化委員）からも貴重なお話を聞くことも出来ました。

後半には村上里志強化副委員長から、人口減少に歯止めを掛ける対策ではなく、寧ろ人口を増やすための方策をとる提案に基づいた話し合いが行われました。又、竹淵専務理事からは小から中、或いは中から高の段階でバレーを続けなかった子供の追跡調査をという提案があり、中体連の方で宿題として持ち帰ることになりました。

最後に三溝強化委員長より「国体で点を取ることを」「10年後の長野国体に向けての強化を」という話でお開きとなりました。話し合いは時間制限もあり充分とは言えませんでした。その後の懇親会も含めて、長野県のバレーボールのために何が出来るかを考える貴重な機会となりました。

☆小・中・高バレーボール指導者懇談会参加者 計19名

（一財）県協会代表：竹淵光雄専務理事

小学校連盟：高相一夫指導普及委員長・高山昭光松塩木曾支部指導普及委員

中学校体育連盟：牛田佳伸県専門委員長・木下智宏東信専門委員長・

高橋あゆ美南信専門委員長・吉川 豊前委員長(県協会理事)

高等学校体育連盟：宮坂俊樹県専門委員長・柳川慎一南信専門委員長・

安川裕幸中信専門委員長・中澤健祥東信専門委員長

指導普及委員会：城倉 淳委員長・三村公二副委員長

強化委員会：三溝裕五委員長・村上里志副委員長・野口京子委員・

紅谷一人委員・山岡航太郎委員・木下久資委員

11月試合結果

☆ 第15回全国社会人9人制東ブロック男女優勝大会

http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/28.11.3_9higashiblock.pdf

☆ 2016/17V・チャレンジリーグⅡ男子須坂大会

http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/28.11.5vcl2_suzaka.pdf

☆ 第37回長野県ママさんバレーボール連盟長野大会

<http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/28.11.6mamasan.pdf>

☆ 第69回全日本高等学校選手権大会長野県代表決定戦

http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/28.11.12haruko_daihyo.pdf

☆ 第86回全日本9人制総合男子選手権大会

☆ 第85回全日本9人制総合女子選手権大会

http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/28.11.12.18_9sogo.pdf

☆ ミズノ杯第16回6人制長野県クラブ選手権大会

☆ 第5回長野県13地区対抗6人制選手権大会（高校・一般の部）

http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/28.11.27mizuo6club_13tiku_ipan.pdf

12月 スケジュール

1.	12/3 (土) ~4 (日)	2016/17V・チャレンジリーグ I 男子高森大会	(高森町)
2.	〃	北信越バレーボール連盟審判委員長会議	(富山県)
3.	12/4 (日)	第21回長野県小学生バレーボール地域あすなる交流会	(大町市)
4.	12/8 (木) ~11 (日)	第6回全国ママさんバレーボール冬季大会	(新潟県)
5.	12/10 (土)	長野県スポーツ指導者研修会 (東北信コース)	(長野市)
6.	12/10 (土) ~11 (日)	北信越バレーボール連盟 各県正副理事長 (専務理事) 会議	(富山県)
7.	12/12 (月)	理事長・競技力向上専門委員合同会議 (国体種目)	(長野市)
8.	12/16 (金) ~18 (日) 12/24 (土) ~25 (日)	天皇杯・皇后杯全日本選手権大会ファイナルラウンド	(東京都)
9.	12/23 (金)	JOC 第30回全国都道府県対抗中学長野県選抜チーム壮行会	(松本市)
10.	12/25 (日) ~28 (水)	JOC 第30回全国都道府県対抗中学バレーボール大会	(大阪府)